

地域包括支援センターだより

認知症をご存知ですか？

～NO.2～

広報さくら5月20日号で認知症の種類や現れる症状について掲載しました。「認知症かもしれないな？」と思ったら、まずはかかりつけ医や専門医のいる病院を受診することが大切です。認知症の方が住み慣れた地域で暮らしていくために、周りの方はどのように対応したらいいのでしょうか。今回は、認知症の方への対応について、基本姿勢を紹介します。



《3つの「ない」》

1. 驚かせない
2. 急がせない
3. 自尊心を傷つけない



《7つのポイント》

- ① **まずは見守る**：認知症と思われる人に気づいたら、ジロジロ見たりせず、一定の距離を保ち、さりげなく様子を見守ります。
- ② **余裕をもって対応する**：対応する側が困惑や焦りを感じていると、相手にも伝わり動揺させてしまいます。
- ③ **声をかけるときは1人で**：複数で取り囲むと恐怖心をあおりやすいので、できるだけ1人で声をかけます。
- ④ **後ろから声をかけない**：唐突な声かけは相手を驚かせてしまうので、一定の距離で視野に入ったところから声をかけます。
- ⑤ **視線を合わせてやさしい口調で**：小柄な方には視線を同じ高さにして対応します。
- ⑥ **おだやかに、はっきりした口調で**：早口・大声・かん高い声では、まくしたてたように聞こえてしまいます。ゆっくりとはっきりした口調を心がけます。
- ⑦ **相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する**：認知症の方は、せかさされたり、同時に複数のことに答えたりすることが苦手です。相手の反応を見ながら、ゆっくり会話しましょう。

(* 認知症サポーター養成講座標準教材参照)

認知症の方への対応は、一般の方への対応と基本的には変わりません。しかし、認知症の症状は人それぞれなので、対応方法が全て同じではありません。基本姿勢を「心得」として頭に入れ、その方に合った対応で付き合いしていくことが大切です。

「どう接していいかわからない…」 「この対応でいいのだろうか」 など困ったときは、いつでもご相談ください。物忘れ介護相談会も開催しています。

物忘れ介護相談会 (認知症サポート医：鐘ヶ江医師との面談)

相談日	7月11日	8月8日	9月12日	* 予約制
(毎月第2木曜)	10月10日	11月14日	12月12日	
11:00~12:00	1月9日	2月13日	3月13日	
問合せ	おたっしや本舗小城北 坂上 ☎73・2172			

問合せ

- 小城・三日月地区の方 おたっしや本舗小城北 (小城市役所別館: 旧改善センター内) ☎73・2172
- 牛津・芦刈地区の方 おたっしや本舗小城南 (ひまわり内) ☎66・6376
- 小城市役所 福祉課 (西館1階) ☎37・6107